

# Bonjour

ボンジュール!!

2016年  
3月10日号  
Vol.293



## マイナス金利をプラスの発想に変える(1)

### ● マイナス金利の先輩、スイスでは

日本のマイナス金利導入後、預金金利の引き下げ、個人向け国債の募集停止やMMFなどの償還等が相次いでいます。

比較的风险の小さい商品の利回りが今まで以上に期待できなくなった今、資産運用に頭を悩ませる方も多いかと思えます。しかし、実は現在スイス、ドイツ、フランス、デンマークなど先進国の約半数が国債利回り(3-7年)でマイナスとなっていることをご存知でしたか?

いち早くマイナス金利を経験したピクテの本社があるスイスでは、不動産(リート含む)株式や公益株式などに人気が集まったそうです。なぜ、金利低下局面では公益株式やリートが注目されるのでしょうか?

**公益株式とリートには3つの共通点があります。相対的に高い配当利回り 相対的に高い有形固定資産比率 相対的に高い負債比率**

### ● 配当利回り

**相対的に高い配当利回り**

リートと公益企業の共通点は、比較的生活に身近な業種であり、リートは不動産から得られる賃貸収入、公益企業は公共料金収入等が得られる点です。そのため、収益が安定して継続的に見込めることや利益の一部

を配当で還元するため、相対的に高い配当利回りが魅力です。

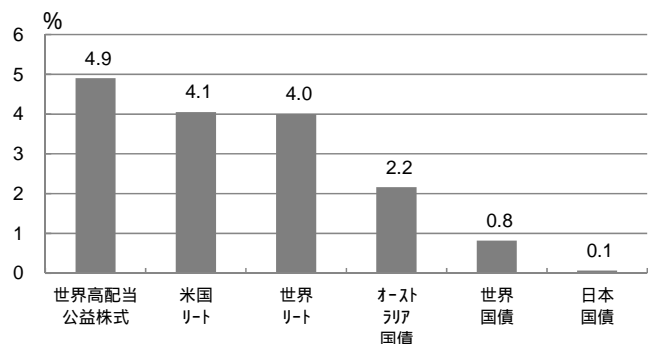
### ● 有形固定資産って?

**相対的に高い有形固定資産比率**

有形固定資産とは、形がある資産のことをいいます。例えば、土地、工場、建物等です。リートは、数多くの不動産を所有しており、公益企業は、発電所や水道管、ガス管などの設備や土地といった莫大な有形固定資産を有しています。

**こうした目に見える有形固定資産から収入を得ているため、市場環境の変化があっても安定した収益が期待できます。(次号続く)**

各資産の利回り(2016年2月末現在)



世界高配当公益株式: MSCI 世界高配当公益株指数、世界国債、日本国債、オーストラリア国債: シティ世界・各国国債指数、世界リート: MSCI 世界リート指数、米国リート: FTSE/NAREIT オール・エクイティ・リート指数 株価指数・リート指数の利回りは配当利回り(税引前)、債券指数の利回りは最終利回り(税引前)  
出所: トムソン・ロイター・データストリームのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成 MSCI 指数は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利は MSCI に帰属します。また MSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。